

●高宮城直子プロフィール

長崎県出身

1996年佐賀医科大学（現 佐賀大学）医学部医学科卒業後、一般産婦人科医として研修及び勤務。

1990年 琉球大学産婦人科助手。不妊治療を中心に診療 第一子出産

1992年 第二子出産。大学病院から一般病院へ

1994年 第三子出産。

1995-1996年 コーネル大学生殖医療センター留学

1997年から 一般病院にて不妊治療を中心に診療（体外受精）

2010年 N a o k o女性クリニック開業（婦人科・漢方内科）

2016年 統合医療をめざしN a o k o美と健康のサロン開設（鍼灸など）

●メッセージ

これまで産婦人科専門医として3人の子育てをしながら目の前の女性患者さんと向き合い診療して参りました。

はじめの4年間は、分娩や婦人科疾患をオールラウンドに研修し勤務医として働きました。第一子が生まれてからは実家も近くになく、夫と二人での働きながらの子育てとなり、家事をしてくれる方を捜して1日数時間来てもらいながらがんばりました。その頃は、教員や看護師にしか育休がなく、産後8週から保育園にお世話になりながら、手探りの子育てでした。その時から時間の決まった不妊治療にたずさわることとなり、体外受精を含む不妊治療ばかりを約17年間行いました。その中でSRHR（生と生殖の健康と権利）について考えさせられることも多々ありました。

自分自身の更年期不調の経験後、開業してからは更年期症候群、一般不妊治療、婦人科、思春期と、さまざまな年代の女性の診療を行っております。

その中で、疾患やホルモンによる症状としてだけでなく、社会や家庭における対人関係などによるストレスや、本人の体質や気質が身体や心の不調に大きく関わっていることを実感し全人的な関わりや治療を心がけています。

2019年に対馬先生の女性医療ネットワーク理事となり、全国の方々と交流していくうちに、診療以外に地方にいてもできることがある、もっと女性達（LGBTを含め）が健やかに幸せに生きやすい社会になるように活動したいと考えようになりました。

微力ですが、日本女性財団の活動に参加し貢献できたらと思っております。